

# テーマレバレッジ DX 2倍

&lt;3453&gt;

追加型投信／内外／株式  
日経新聞掲載名：テレバDX2

第2期 2023年3月28日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界の「DX（デジタルトランスフォーメーション）」関連株式に実質的に信託財産の純資産総額の2倍相当額を投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第2期末	基準価額	5,284円
	純資産総額	330百万円
第2期	騰落率	△47.5%
	分配金	0円

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

◇TKU0345320230328◇

「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：10,074円

期末：5,284円（分配金0円）

騰落率：△47.5%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

連動債券への投資を通じて、日本を含む世界の「DX（デジタルトランスフォーメーション）」関連株式に信託財産の純資産総額の2倍相当額を投資した結果、物価上昇懸念から世界的に金利が上昇する中、成長性の高いテクノロジー企業の株価が大きく調整したため、基準価額は下落しました。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 3. 29~2023. 3. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	70円	1. 215%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は5, 736円です。</b>
(投 信 会 社)	(34)	(0. 594)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(34)	(0. 594)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0. 027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0. 030	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 022)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	71	1. 245	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

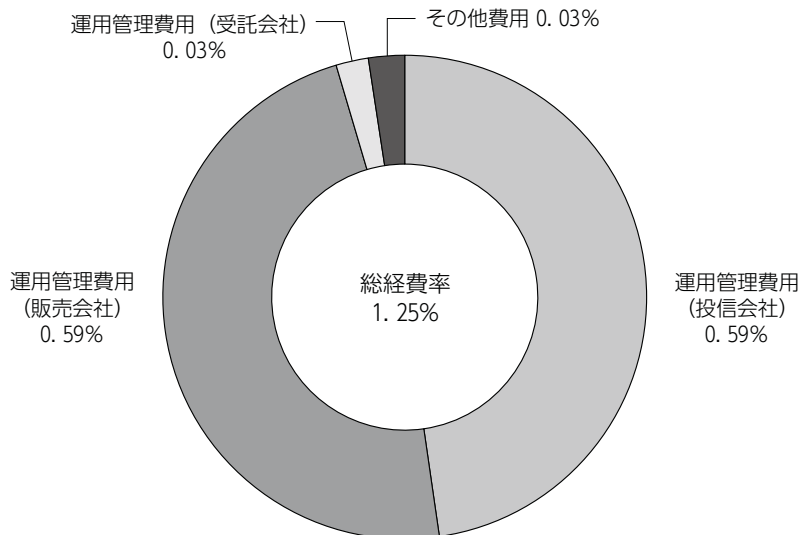
(注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.25%です。



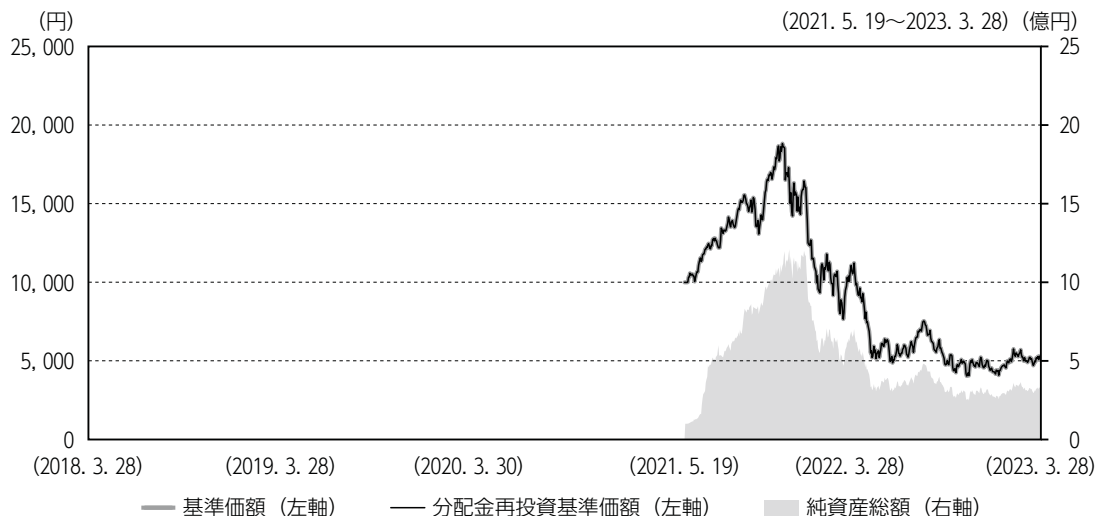
(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

\*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかります。  
純資産総額に対して年率0.19%（税込）程度、その他各種費用等

## 最近 5 年間の基準価額等の推移について



		2021年5月19日 設定	2022年3月28日 決算日	2023年3月28日 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,074	5,284
分配金 (税込み)	(円)	—	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	0.7	△47.5
純資産総額	(百万円)	100	624	330

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## 投資環境について

(2022. 3. 29 ~ 2023. 3. 28)

### 世界株式市況

世界株式市況は下落しました。

世界株式市況は、当作成期首より、米国におけるインフレ率の予想以上の上昇を受けてF R B（米国連邦準備制度理事会）が利上げを加速するとの思惑が強まったことなどから、下落しました。2022年6月半ばにF R Bが利上げ幅の拡大を決定した後は悪材料出尽くし観測から上昇に転じ、またインフレ率がピークアウトするとの期待感などもあり、8月中旬にかけて上昇が続きしました。その後は、予想以上のインフレ率の上昇や英国の財政悪化懸念などで欧米の金利が上昇したこと、企業業績の見通しの下方修正が相次いだことなどが嫌気され、10月半ばにかけて下落しました。11月末にかけては、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感されて上昇しましたが、年末にかけては、米国の景況感や企業業績の悪化が懸念されて下落しました。2023年に入ると、賃金上昇率の伸びが鈍化しF R Bの利上げペースの減速が期待されたことなどから再び上昇に転じましたが、2月以降は、堅調な米国雇用統計を受けて米国の金融引き締め長期化への警戒感が高まったことや、米国政府による中国の偵察気球の撃墜などを背景に米中関係の悪化が懸念されたことなどが嫌気され、当作成期末にかけて下落しました。

### 前作成期末における「今後の運用方針」

連動債券への投資を通じて、日本を含む世界の株式の中から「DX（デジタルトランスフォーメーション）」関連株式に信託財産の純資産総額の2倍相当額の投資を行います。「DX（デジタルトランスフォーメーション）」テーマに関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

## ポートフォリオについて

(2022. 3. 29 ~ 2023. 3. 28)

連動債券への投資を通じて、日本を含む世界の株式の中から「DX（デジタルトランスフォーメーション）」関連株式に信託財産の純資産総額の2倍相当額の投資を行いました。「DX（デジタルトランスフォーメーション）」テーマに関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築しました。

### （ご参考）実質組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率 (%)
Microsoft Corp	アメリカ・ドル	19.5
Salesforce Inc	アメリカ・ドル	10.4
Cadence Design Systems Inc	アメリカ・ドル	9.6
Synopsys Inc	アメリカ・ドル	9.1
ServiceNow Inc	アメリカ・ドル	8.9
Fortinet Inc	アメリカ・ドル	8.8
Palo Alto Networks Inc	アメリカ・ドル	8.6
Workday Inc	アメリカ・ドル	8.4
Amazon.com Inc	アメリカ・ドル	8.3
Constellation Software Inc/Canada	カナダ・ドル	8.2

(注) 比率は2023年3月28日現在の純資産総額に対するものです。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2022年3月29日 ～2023年3月28日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	—

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

連動債券への投資を通じて、日本を含む世界の株式の中から「DX（デジタルトランスフォーメーション）」関連株式に信託財産の純資産総額の2倍相当額の投資を行います。「DX（デジタルトランスフォーメーション）」テーマに関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。





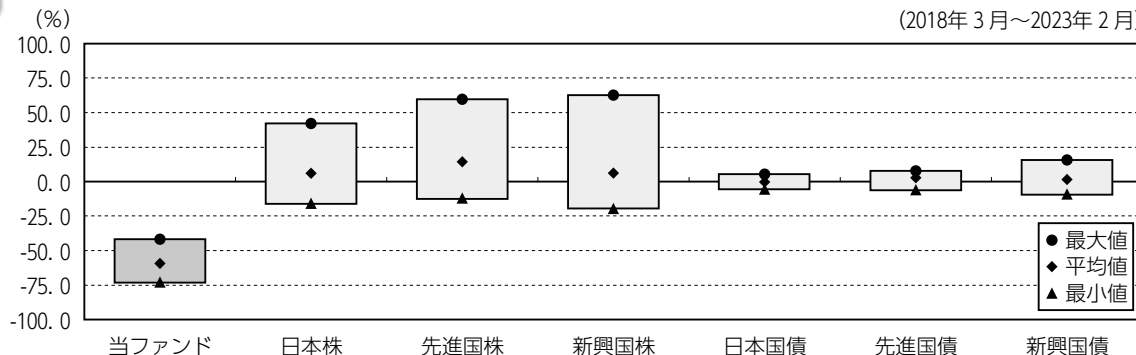
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2021年5月19日～2026年3月27日
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	日本を含む世界の株式の値動きを享受する債券（円建）（以下「連動債券」といいます。）
運用方法	<p>①主として、連動債券への投資を通じて、日本を含む世界の「DX（デジタルトランスフォーメーション）」（以下「テーマ」といいます。）関連株式（DR（預託証券）を含みます。）に信託財産の純資産総額の2倍相当額を投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行いません。</p> <p>②連動債券が連動対象とする戦略は、以下の内容を基本とします。</p> <p>※委託会社は、下記イ．～ハ．に関する情報提供を行いません。</p> <p>イ．テーマに関連すると考えられる企業を投資対象銘柄として選定します。</p> <p>ロ．投資対象銘柄の中から、テーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し等を勘案して組入銘柄を選定します。</p> <p>ハ．テーマ銘柄としての代表性や流動性等を考慮し、各銘柄の組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>※一銘柄当りの組入比率が信託財産の純資産総額に対して10%を超える場合があります。</p> <p>二．実質的に信託財産の純資産総額のおおむね2倍相当額の投資を行いません。</p> <p>③実質組入外貨建資産については、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。</p> <p>④連動債券の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p>
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2018年3月～2023年2月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	△ 41.9	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
平均値	△ 59.3	6.1	14.4	6.2	△ 0.3	2.8	1.6
最小値	△ 73.2	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる商標または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる商標または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドに基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[ <https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html> ] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



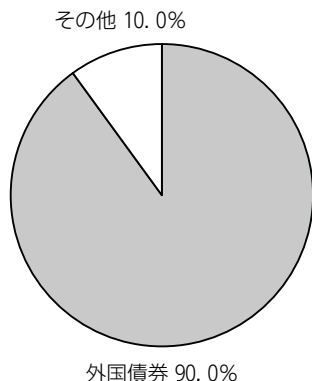
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

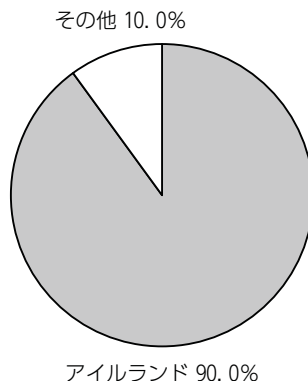
### 組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
Vault Investments PLC 2026/3/10	日本・円	90.0%
組入銘柄数	1銘柄	

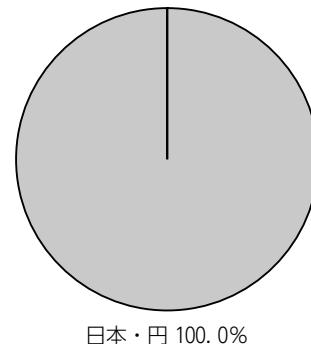
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2023年3月28日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

## 純資産等

項目	当期末
	2023年3月28日
純資産総額	330,711,704円
受益権総口数	625,824,045口
1万円当り基準価額	5,284円

\* 当期中における追加設定元本額は407,474,502円、同解約元本額は401,391,458円です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。